

平成 24 年度

事業報告書

自 平成 24 年 4 月 1 日

至 平成 25 年 3 月 31 日

公益財団法人 世田谷区保健センター

## 平成24年度 事業実績

### I. 事業実績

#### (公益財団法人として)

平成24年度は、財団設立より35年目を迎え、公益財団法人移行後3年目に入ると同時に、保健センター、総合福祉センターとも第3期指定管理者として施設の運営を任された1年目であった。

当財団は、平成23年3月に策定した「保健センター経営ビジョン」、6月に出された「総合福祉センターあり方」を基本に、世田谷区と連携のもと、事業効果や効率性、サービスの向上の観点から公益財団法人にふさわしい事業のあり方を検討してきた。それに加え世田谷区では都立梅ヶ丘病院跡地において保健・医療・福祉の拠点機能の整備を進めることを決定したことに対応し、新たな事業展開の可能性など今後の財団のあり方を、様々な方面から検討に組織として取り組むことにより、職員の意識改革を図った。

また、ホームページに必要な法人情報（役員名簿や財務諸表、規程・規則など）を更新整備し、公益財団法人としてのディスクロージャー（情報開示）を高めるとともに、併せて学会・研究会への発表論文を公開することで、不特定多数の利益の増進という公益財団法人としての基本目的も果たしてきた。

なお、厳しい区の財政状況を踏まえ、事業の一層の効率化と経費の縮減につとめながら、公益財団法人としての公益目的事業の収支相償の維持、公益目的事業を支える収益事業収入の確保を行ってきた。公認会計士による毎月の会計指導、中間期の財務状況を的確に把握するための監事による期中監査など、経営状態の把握と年間の事業計画達成に向けた取り組みを継続、実施した。

#### (財団運営の状況)

区立施設の指定管理者として今後も継続的に指定を受けるため、財団の財務状況の改善は必須である。区立保健センターでは24年10月より新たな所長を迎え、病院経営のノウハウを活かすとともに、利用者増、収入増に向けた改善のための工夫に努めた。

また職員全体の年齢層が上がりつつあるなか、定年退職後の雇用制度（再任用・再雇用）の導入、非正規職員の安定的な中期雇用の確保や今後の人材登用につながる契約職員制度の導入など、人事計画につながる規程整備を行った。

広報活動としては全世帯配布の健康情報紙(誌)「げんき人」の継続をはじめ、エフエム世田谷における番組のレギュラー化、保健センターまつりにおいて実施事業の案内紹介、健康情報の提供、不特定多数の区民へのがん検診の啓発などを行った。

施設面では消防点検における設備の指摘事項など、適切な補修を行うとともに、利用者の安心・安全につながる改修を進めた。花と緑に溢れた保健センターをめざし、前年に引き続き花壇整備は地域区民ボランティアの協力により、利用者の視点に立ったホスピタリティ溢れる施設を実現した。

## 1 公益目的事業

### 公益 1 世田谷区民の健康の保持増進を図る事業 (保健センター事業)

#### (1) 区立保健センター維持管理運営事業 (定款第4条第1号事業)

区立保健センターの指定管理者として、区立保健センター施設・設備並びに物品の維持管理運営に関する事務を実施した。

#### (2) がん検診事業 (定款第4条第1号事業)

##### ① 胃がん検診

40歳以上の区民を対象に、保健センターの施設内及び2台の検診車で胃X線撮影による胃がん検診を実施し、検診の結果、必要な人に対しては医療機関と連携して、精密検査の受診を勧奨した。

24年度は、区が60・61・62・63・65・66歳の区民に対し実施した個別勧奨及び保健センターが実施した1年前の受診者に対する受診勧奨等の効果により、前年度の実績を1,453人上回った。

[表 1]

事業項目		年度	24年度			23年度		22年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
胃がん検診	回数		590回	627回	106.3%	570回	602回	544回
	受診者数		15,000人	15,172人	101.1%	15,000人	13,719人	14,228人
	がん発見数		—	30人	—	—	22人 (17人)	21人 (15人)

※ 申込数 16,279 人(受診率 93.2%)、要精検数 2,943 人(要精検率 19.4%)

※ がん発見数は平成25年3月末現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は( )に記載のとおり。

## ② 乳がん検診

40歳以上の区民(女性)を対象に行われている乳がん検診において、マンモグラフィ(乳房X線撮影)受託機関として撮影及び読影を実施した。

なお、実績は女性がん無料検診事業にもとづく乳がん検診(無料クーポン券利用)との合算である。

[表 2]

事業項目		年度	24年度			23年度		22年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
乳がん検診	回数		150回	164回	109.3%	150回	171回	170回
	受診者数		1,400人	1,026人	73.3%	1,600人	1,199人	1,615人

※ 無料クーポン券利用者 231 名を含む。

※ 申込数 1,041 人(受診率 98.6%)、要精検数 122 人(要精検率 11.9%)

## (3) 健康増進事業 (定款第 4 条第 1 号事業)

### ① 健康度測定、運動負荷測定、健康増進指導等による多様な健康づくり

健康の維持及び積極的増進を図るため、18歳以上の区民を対象として、健康度測定・再測定、運動負荷測定、健康増進指導を実施した。24年度は健康度測定の結果に基づく糖尿病予防教室や壮年期世代をターゲットにした「こころとカラダの健康づくり教室」を重点事業として取り組んだ。

[表 3]

事業項目		年度	24年度			23年度		22年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
健康度測定	回数	—	83回	—	—	83回	87回	
	人数	1,700人	1,816人	106.8%	1,800人	1,875人	1,910人	
再測定	人数(再掲)	—	84人	—	—	91人	67人	
運動負荷測定	回数	—	47回	—	—	46回	44回	
	人数	150人	163人	108.7%	150人	152人	159人	
健康増進指導	回数	—	414回	—	—	441回	410回	
	人数	11,000人	12,862人	116.9%	12,000人	13,221人	12,865人	
壮年期 健康づくり教室	回数(再掲)	49回	49回	100.0%	62回	63回	67回	

※ 健康度測定受診総数 1,816 人のうち、個別の休養指導(こころ・健康管理)1,332 人、栄養指導(食生活改善)1,357 人、運動指導(活動・運動方法)1,404 人を実施した。

※ 健康増進指導における指導内容の内訳は以下のとおり。

- ・トータルな健康づくり 145回(参加数 4,399人)
- ・心とからだの癒しと元気 23回(参加数 464人)
- ・食での健康 23回(参加数 447人)
- ・からだの元気 174回(参加数 6,386人)
- ・壮年期 夜間・土曜 49回(参加数 1,166人)

## ② 保健センターから専門職員の派遣による地域での健康づくり支援

### (ア) 実地指導・健康づくり支援

区関係機関の依頼により、地区での健康教室や自主グループ活動に運動指導員等を派遣した。また、地域で行われる健康づくりに関する行事等の開催に協力し、区民の健康づくり活動を支援した。24年度は健康づくりの輪を広げるため、地域交流会を開催した。参加者全員での運動やグループ継続の工夫や問題点を話し合った。

[表4]

事業項目		年度		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
実地指導	派遣数	1,150回	1,162回	101.0%	1,150回	1,144回	1,123回		
	指導人数	—	18,514人	—	—	18,206人	18,216人		
健康づくり支援	回数	100回	132回	132.0%	100回	103回	72回		
出張健康 チェック	回数	10回	12回	120.0%	10回	8回	9回		
	人数	—	396人	—	—	233人	326人		

(イ) 壮年期世代の健康づくり支援

就労世代の健康づくりを支援するため、地域の事業所などに運動や食生活指導を行う専門職を派遣した。24年度は新規者獲得に向けた取り組みとして、地域で壮年期世代を対象とした講座を拡充した。

[表5]

事業項目		年度		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
区講座への 講師派遣	回数	10回	7回	70.0%	10回	5回	9回		
	人数	—	257人	—	—	151人	325人		
地域講座	回数	8回	8回	100.0%	3回	6回	—		

③ 健康づくりを支援するリーダーの養成・活動支援

地域の健康づくりグループに対し、保健センターの運動指導員に代わって体操等を指導する区民ボランティアリーダーを養成し、自主的な健康づくり活動を支援した。

24年度は、前年度に養成した5期生のレベル向上をめざし、上級リーダー養成講座を実施した。また、指導技術の維持向上を図るための研修会や指導実習を実施した。リーダー実地指導では、地域グループヘリーダーを派遣しグループ活動を支援した。

[表 6]

事業項目		年度		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
リーダー養成	人数	—	—	—	10人	参加19人 認定14人	—	—	
上級リーダー養成	人数	10人	12人	120.0%	—	—	—	11人	
研修会(講座)	回数	10回	10回	100.0%	10回	10回	—	8回	
研修会(指導実習)	人数	50人	50人	100.0%	50人	50人	—	50回	
リーダー交流会	回数	6回	6回	100.0%	6回	6回	—	6回	
リーダー実地指導	回数	320回	317回	99.1%	320回	318回	—	314回	

※ リーダー養成と上級リーダー養成は、隔年で実施。

※ 研修会(指導実習)は23年度より集計単位を回数から人数(実人数)に変更した。

④ 生活習慣病の重度化予防を推進する取り組み

24年度より新規事業として、生活習慣病のリスクがある区民を対象に合併症の発症や症状進展など重度化予防のための事業を展開した。地域出張健康測定では、玉川地域および烏山地域で開催し、測定のほか本人持参の健診データに基づく個別アドバイスを行った。

[表 7]

事業項目		年度		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
地域出張 健康測定・ 個別相談会	回数	2回	2回	100.0%	—	—	—	—	
	人数	—	86人	—	—	—	—	—	
重度化予防の 実践セミナー	回数	8回	8回	100.0%	—	—	—	—	
	人数	—	176人	—	—	—	—	—	

#### (4) 健康教育事業 (定款第4条第1号事業)

##### ① 各種健康イベントや健康情報の発信により地域の健康づくりの基盤を広げる

医師会、歯科医師会、薬剤師会等との共催により、健康相談・講演会、歯科衛生講習会、薬事相談を実施した。また、保健衛生知識の普及・啓発を目的として、保健センター主催・共催の講演会・講習会を実施し、公衆衛生思想の普及に努めた。心の健康づくり講習会では、「心」をテーマに駒澤大学禅学科より講師を招き、夜間に座禅講習会を開催した。

[表8]

		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
区民のための健康教室	回数	4回	4回	100.0%	4回	4回	4回
	人数	—	1,206人	—	—	1,030人	936人
区民のための糖尿病教室	回数	1回	2回	200.0%	2回	2回	2回
	人数	—	17人	—	—	29人	26人
歯っぴいフェスタ	回数	1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数	—	389人	—	—	384人	321人
くすりと健康のつどい	回数	1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数	—	557人	—	—	468人	364人
薬の講演会	回数	1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数	—	68人	—	—	76人	18人
心の健康づくり講習会	回数	12回	12回	100.0%	11回	12回	10回
	人数	—	298人	—	—	289人	199人
講演会・講習会	回数	1回	1回	100.0%	2回	2回	3回
	人数	—	94人	—	—	125人	308人

② 健康情報の発信と保健センターまつり

健康情報の普及・啓発を目的に様々な情報発信を行った。主として、健康情報誌「げんき人」の発行、エフエム世田谷の放送、保健センター情報コーナー掲示板およびその他チラシを配布した。

健康情報紙(誌)「げんき人」はタブロイド判を3回発行し、新聞折込みにより区内全域に配布したほか、冊子形式を1回発行し、区施設等の窓口を通じて区民へ配布した。

また、『健康を知る・試す・考える』をテーマとしたイベント「保健センターまつり2012」を11月3日(土)に開催した。健康意識の向上と保健センター事業を広く知ってもらうため、全係共同での実行委員会形式で企画・運営を行った。今回は、壮年期世代を含む比較的若い区民へのアプローチとして、近隣小学校を通過しての周知を行った。なお、健康づくり自主グループの長期継続表彰、震災復興支援コーナー、および区長意見交換会なども同時に実施した。

[表9]

		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
健康情報紙(誌) 「げんき人」の 発行	タブロイド判	3回	3回	100.0%	3回	3回	1回
	A4カラー判	1回	1回	100.0%	1回	1回	3回

  

発行年月日	内 容	規 格 発行部数
24. 6. 1 (第70号)	日本人のためのがん予防法 健康教室のお知らせ ほか	タブロイド判 2ページ 285,000部
24. 10. 1 (第71号)	メタボじゃなくても油断は禁物！生活習慣チェック がん検診を受けましょう ほか	タブロイド判 4ページ 285,000部
25. 2. 1 (第72号)	年に一度はきちんと受けよう大腸がん検診 ほか	タブロイド判 2ページ 285,000部
25. 3. 1 (第73号)	長〜く続く“せき”もしかして「せきぜんそく」？ 平成25年度開催予定 健康づくり教室・コースのご案内 ほか	A4判 6ページ 20,000部

[表 10]

		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
保健センター まつり 2012	回数	1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数	—	1,392人	—	—	1,455人	848人

※ 保健センターまつりにおける項目内訳は以下のとおり。

・長期グループ表彰式	28人	・癒しのコンサート	140人
・体力測定	272人	・苔玉作り講習会	30人
・食事バランス	182人	・アロマセラピー	70人
・運動体験講習会	124人	・マシントレーニング体験	66人
・胃の検査紹介コーナー	480人		

### ③ 健康教育指導と団体支援

継続的な運動の機会を提供し、区民の健康づくりを支援した。また、他の団体等からの依頼により健康増進に関する実技指導等を行った。

[表 11]

		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
運動コース	回数	440回	438回	99.5%	440回	437回	434回
	人数	—	19,455人	—	—	19,361人	18,855人
マシン トレーニング	回数	—	1,244回	—	—	1,235回	1,258回
	人数	12,500人	13,190人	105.5%	12,000人	13,251人	12,748人

[表 12]

		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
出張指導	派遣人員	176人	167人	94.9%	165人	160人	161人
	参加人員	—	2,213人	—	—	2,486人	2,101人

④ 区内大学等との連携と地域健康づくりグループとの交流

大学をはじめとする区内の学校等の実習受入れや講師依頼に対応するとともに、3つの地域の健康づくりグループとの交流会等を行った。

[表 13]

	24年度	
	内 容	期 日
区内大学等との連携	世田谷区医師会立看護高等専修学校 実習受入れ	24年 5月～12月
	昭和女子大学 実習受入れ	24年 9月～3月
	武蔵野大学 ヘルスプロモーション実習受入れ	24年 10月
	日本女子体育大学 実習受入れ	24年 10月～11月
	世田谷区生涯大学 福祉学習・体験・利用コース 受入れ	24年 11月
	武蔵野大学 ヘルスプロモーション活動と健康教育(実践・レクチャー)	25年 1月
地域健康づくりグループとの交流	北沢地域体操グループ交流会	24年 10月
	健康づくり自主グループ 長期グループ表彰(6団体)	24年 11月
	砧地域体操グループ交流会	25年 3月
	玉川地域体操グループ交流会	25年 3月

⑤ 特定保健指導事業

「高齢者の医療の確保に関する法律」により、保険事業者(世田谷区国保)からの委託を受け、特定保健指導対象者に対して保健指導を行った。

[表 14]

		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
積極的支援	実人数	20人	14人	70.0%	40人	10人	18人
動機づけ支援	実人数	60人	56人	93.3%	160人	47人	52人

**公益2 心身に障害を有する区民の福祉の増進を図るために実施する事業  
(総合福祉センター事業)**

**(1) 区立総合福祉センターの維持管理運営 (定款第4条第2号事業)**

区立総合福祉センターの指定管理者として、区立総合福祉センターの施設・設備並びに物品の維持管理運営に関する事務を実施した。

**(2) 相談支援事業 (定款第4条第2号事業)**

基幹相談支援センターを設置し、身体・知的・精神障害者の相談支援に関する業務を総合的に行い、区と協力・連携しながら、中核的な役割を担ってきた。また、相談支援事業者や地域の相談機関が一体的な相談支援機能を発揮できるよう、支援・調整に取り組んだ。

**(3) 機能訓練事業 (定款第4条第2号事業)**

① 成人機能訓練

心身に障害のある成人を対象に、障害者自立支援法に位置づけられない指導・訓練事業のほか、自立訓練の契約開始までの指導や契約終了後のフォローを行った。

[表 15]

		24年度			23年度		22年度	
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績	
成人機能訓練	個別	実人数	500人	297人	59.4%	500人	405人	537人
		延人数	1,600人	1,394人	87.1%	1,600人	1,645人	1,790人
	グループ	実人数	40人	37人	92.5%	20人	50人	56人
		延人数	500人	408人	81.6%	500人	632人	758人

② 障害者自立支援法 自立訓練

自立促進、生活の質の向上等を図るため、障害者自立支援法による自立訓練（生活訓練・機能訓練）を実施した。

[表 16]

		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
自立訓練							
個別	実人数	70人	74人	105.7%	50人	67人	73人
	延人数	2,000人	2,478人	123.9%	2,000人	2,393人	2,422人
グループ							
グループ	実人数	40人	42人	105.0%	40人	37人	43人
	延人数	1,500人	2,083人	138.8%	1,800人	1,502人	1,621人

③ 児童機能訓練

発達の遅れや障害のある乳幼児・学童を対象に、心身の豊かな成長を促し、日常生活の自立に必要な能力や社会性を育てていくため、相談・評価・訓練等を実施した。

[表 17]

		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
観察評価		2,500件	2,355件	94.2%	2,500件	2,600件	2,571件
児童機能訓練（継続相談）							
個別	実人数	300人	302人	100.7%	400人	294人	334人
	延人数	700人	950人	135.7%	700人	981人	1,075人
グループ							
グループ	実人数	125人	120人	96.0%	125人	145人	114人
	延人数	320人	398人	124.4%	320人	332人	312人

④ 児童福祉法 児童発達支援事業

心身の発達の遅れや障害のある乳幼児を対象に日常生活に必要な能力や社会性を育てるため、児童福祉法による児童発達支援事業を実施した。

[表 18]

		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
児童発達支援事業							
個別	実人数	550 人	574 人	104.4%	550 人	575 人	563 人
	延人数	5,020 人	6,258 人	124.7%	5,020 人	5,779 人	5,584 人
グループ							
グループ	実人数	140 人	144 人	102.9%	115 人	148 人	153 人
	延人数	3,790 人	4,037 人	106.5%	3,790 人	4,142 人	4,095 人

(4) 交流等地域支援（定款第4条第2号事業）

障害のある人もない人も、地域社会で共に生き、社会参加や生活の充実が図れるよう、各種講習会や行事の実施など交流の場と機会を提供した。

また、児童福祉施設や障害者福祉施設等の依頼によりスタッフを派遣し、施設職員に対する技術援助を行うなど地域支援を実施した。

[表 19]

		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
交 流	講習会等参加	2,800 人	2,691 人	96.1%	2,800 人	1,446 人	2,504 人
技 術 支 援	受託事業	485 回	515 回	106.2%	485 回	548 回	549 回
	個別支援	90 回	90 回	100.0%	130 回	152 回	116 回
研 修	人 数	1,000 人	1,234 人	123.4%	1,000 人	1,378 人	1,245 人

### (5) 福祉用具・住宅改造展示相談室事業（定款第4条第2号事業）

身近な福祉用具の紹介や使い方の指導、住宅改造の相談、リサイクルやレンタル情報の提供を実施した。

[表 20]

		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談・情報提供	件数	5,000件	3,922件	78.4%	5,000件	5,333件	5,221件

### (6) 高齢障害者支援事業（定款第4条第2号事業）

介護保険制度における通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション事業を実施した。

[表 21]

		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
通所リハビリ テーション	実人数	180人	161人	89.4%	180人	181人	188人
	延人数	5,200人	5,791人	111.4%	5,200人	5,806人	6,100人
訪問リハビリ テーション	実人数	130人	67人	51.5%	130人	137人	143人
	延人数	2,300人	1,409人	61.3%	2,300人	2,410人	2,607人

## 2 収益事業

### 収益 1 財団規程等に基づく健康診査・検査事業、地域医療を支援する事業 (保健センター事業)

#### (1) 保険診療等による検査事業 (定款第4条第3号事業)

地域医療を支援するため、医療機関からの依頼にもとづき、保険診療による各種精密検査を実施した。24年度はCT検査の時間枠の拡充を図るなど、利便性の向上を図った。

[表 22]

		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
胃							
内視鏡検査	件数	1,800件	1,644件	91.3%	2,200件	1,788件	1,853件
病理組織検査	件数	650件	572件	88.0%	650件	527件	512件
大腸							
内視鏡検査	件数	350件	309件	88.3%	350件	266件	349件
病理組織検査	件数	120件	125件	104.2%	120件	119件	137件
乳房							
一般撮影	件数	450件	235件	52.2%	450件	272件	361件
スポット撮影	件数	50件	24件	48.0%	50件	51件	53件
超音波検査	件数	500件	252件	50.4%	500件	311件	421件
細胞診検査	件数	50件	26件	52.0%	50件	21件	52件
子宮							
内視鏡検査	件数	100件	116件	116.0%	100件	123件	106件
病理組織検査	件数	100件	115件	115.0%	100件	122件	105件
細胞診検査	件数	100件	115件	115.0%	100件	124件	107件
MRI検査	件数	2,300件	1,913件	83.2%	2,300件	1,906件	2,094件
CT検査	件数	2,300件	1,706件	74.2%	2,300件	1,845件	2,078件
腹部超音波検査	件数	250件	212件	84.8%	250件	231件	271件
心臓							
ホルター心電図	件数	50件	22件	44.0%	50件	22件	27件
超音波検査	件数	165件	171件	103.6%	165件	187件	155件

## (2) 検体検査事業 (定款第4条第3号事業)

世田谷区と委託契約(単価契約)を締結し、子宮がん検診及び大腸がん検診の検体検査事業を実施した。24年度の実績件数は、子宮は頸部、体部ともに計画数を上回った。大腸は計画数には及ばなかったが、前年度実績より845件増加した。

### ① 子宮

[表 23]

		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
細胞診検査	頸部件数	24,000件	26,659件	111.1%	24,000件	24,216件	30,167件
	体部件数	2,300件	2,420件	105.2%	2,300件	1,957件	2,725件
	がん発見数	—	14人	—	—	20人 (5人)	39人 (13人)

※ がん発見数は平成25年3月末現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は( )に記載のとおり

※ 無料クーポン券利用者 6,607 名を含む。

※ 頸部 検査件数 26,659 人、要精検数 693 人(要精検率 2.6%)

体部 検査件数 2,420 人、要精検数 36 人(要精検率 1.5%)

### ② 大腸

[表 24]

		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
便潜血検査	件数	21,000件	19,928件	94.9%	21,000件	19,083件	19,925件
	がん発見数	—	46人	—	—	57人 (49人)	35人 (24人)

※ がん発見数は平成25年3月末現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は( )に記載のとおり

※ 検査件数 19,928 人、要精検数 1,685 人(要精検率 8.5%)

### ③ 医師会委託大腸がん検診精度管理

24年度、新たに区が地区医師会に委託した長寿健診対象者の大腸がん検診について、検診結果等の集計作業を実施した。

[表 25]

		24年度			23年度	
		計画	実績	達成率	計画	実績
大腸がん 検診 精度管理	検診受診者 集計件数	—	3,326 件	—	—	—
	精密検査結果 集計件数	—	90 件	—	—	—

### (3) 料金規程等による事業 (定款第4条第3号事業)

財団料金規程等による事業として、9種の検査等を実施した。24年度は企業健診の需要増に対応するとともに、新たに骨密度測定を加えたほか、企業健診を受診した企業就労者対象の健康増進プログラムおよび生活習慣病リスク者に対する個別支援を試行として実施した。

[表 26]

		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
小中学生心臓精密検査	人数	100 人	106 人	106.0%	100 人	118 人	101 人
企業健診	人数	1,800 人	2,050 人	113.9%	1,800 人	1,917 人	1,839 人
個人健診	人数	400 人	556 人	139.0%	400 人	593 人	599 人
脳ドック	人数	192 人	202 人	105.2%	220 人	186 人	256 人
動脈硬化検査	人数	1,000 人	1,075 人	107.5%	1,000 人	1,061 人	1,084 人
体成分分析測定	人数	50 人	136 人	272.0%	50 人	117 人	149 人
骨密度測定	人数	150 人	149 人	99.3%	—	—	—
企業就労者健康増進プログラム	回数	試行	4回	—	—	—	—
生活習慣病リスク個別支援	人数	試行	0 人	—	—	—	—

※生活習慣病リスク者の個別支援では、支援への賛同を得られた企業の健診受診者のうち、保険者にデータを提出できない特定保健指導該当者 11 名に保健指導(無料)の案内をしたが、申し込みがなかった。

**収益 2 障害者支援者及び施設への技術提供事業  
(総合福祉センター事業)**

**(1) 住宅改造アドバイザー事業 (定款第 4 条第 4 号事業)**

自宅で安全で便利な日常生活が送れるように、介護保険の住宅改修費の支給を受けて、住宅の改造を行う家庭に訪問し相談に応じるアドバイザーとして専門職員を派遣した。

[表 27]

		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
住宅改造アドバイザー派遣	回数	280回	235回	83.9%	280回	269回	276回

**(2) 障害者施設等技術支援事業 (定款第 4 条第 4 号事業)**

障害者のいる高齢者施設等に専門職員を派遣し、障害特性の理解や介助方法、留意点等について技術的な助言・指導を行った。近年は失語症や嚥下指導などに対応するために言語聴覚士のニーズが高まっている。

[表 28]

		24年度			23年度		22年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
専門職員派遣	回数	160回	178回	111.3%	150回	183回	178回